

# 静華

札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部  
同窓会報

発行/静華会 札幌市清田区清田4条1丁目4-1

編集/静華会 広報部

印刷/株須田製版(担当:営業部 西村 晃満(大学7期))

札幌市西区二十四軒2条6丁目1番8号

代表 (011) 621-1000

## 春夏



## 秋冬



キャンパス内撮影・熊坂幸三郎



### 同窓会奨学金制度 の創設を契機に

札幌国際大学  
札幌国際大学短期大学部

学長 神尾 和正

この度、同窓会によって奨学金制度が創設されました。有り難く、感謝申し上げます。新しい奨学金制度は、学生の可能性を開花させる上で、大きな励ましを与えてくれるものと思います。

本学は、今、学生一人ひとりの「人間力、実務力、就職力」を高めるための取り組みを進めています。現在、短期大学創設時に建設した体育館、大学設置時に建設した体育館に加えて三つ目の体育館を建設中です。その目的は、新しい教育を展開することにあります。その他に、学生の課外活動を活発にする環境を整備して、活力を高めみずからの可能性を追求する学生を育てることにあります。

本学の学生は地域との交流や地域への貢献活動等でも活躍しています。国際間の交流や貢献を目指す活動も活発です。日本の大学生を対象にした国際ボランティア実習が、今夏、タイのバンコクで実施されました。この実習に一番多く参加したのは本学の学生でした。

課外活動もまた、新たな胎動を見せ始めています。

このような動きに的確に対処して、本学の教育のさらなる充実、飛躍を図る所存です。

同窓会の皆様には、奨学金制度創設を契機に、学生の多様な能力をさらに高めていくため、今後ともより一層のご支援、ご協力をお願いする次第です。どうか宜しくお願い致します。

最後に、同窓会及び会員の皆様のより一層のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます。



### 学生支援と同窓会

札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部同窓会  
静華会

会長 荒谷 啓子

日増しに秋も深まり、会員の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。今年の夏は記録的な暑さがつづきましたが、北海道は、また2ヵ月程で雪の季節がまいります。

さて、会長に就任して以来、役員にささえられ、同窓会のあり方を悩みながら過ごした一年でした。

これからの一年は、昨年から取り組んでいる古いデータベースを新しいデータベースにすることを実行していく年にしていきます。

また、二年に一度の総会を毎年行う方針にし、これから先支部における開催も考え、会員皆様の交流とメリットを考えていかなければいけないと思っています。

昨今の厳しい社会情勢の中、同窓会として学生に対し奨学金・学生支援金を設けることとしました。

これにより同窓会が母校に貢献し応援していくことが、同窓会の発展、母校の発展につながっていくものと信じております。

また、男性会員が同窓会活動に参加し活性化していただけることを望んでいます。

今後ともご支援、ご協力をお願い致します。

### 2006同窓会のご案内

日時 2006年11月18日(土) 18:00スタート

会場 ホテルオークラ札幌  
(札幌市中央区南1条西5丁目)

会費 3,000円

今回は在学生のクラブ、YOSA KOIソーラン部、チアリーダー部、吹奏楽部が出演します。札幌国際大学のあふれるエネルギーを体感してください!

みなさまのご参加をお待ちしております。





# 恩師からのメッセージ



## 同窓意識の高揚が課題

白川智洋先生 札幌国際大学短期大学部 名誉教授

少子化の影響で、私大や短大が大きな転換期を迎えている中で、皆さんの母校は、理事長や学長を先導に教職員が一体となった改革への取り組みが、地域社会の大きな支持を得て飛躍発展していることは喜ばしい限りです。

この静華会も創設35周年を迎えましたが、ここで特に期待したいのは、会員の同窓意識の高揚です。同窓意識の真価は、利害に関わりなく年代の差を超え、人間的な近親感で結ばれあう点にあると言われます。

お互いが同窓であることの喜びと誇りを持ち、参加することで心が高揚される同窓会であることが大切です。そのためには、まず先輩会員が年齢を重ねながら輝きを増す生き方を示し、それに共感する後輩が多数存在することが、本会発展の鍵にもなると思います。



## ～財産～

千葉昭正先生

元 札幌国際大学社会学部 教授

本年3月末日で札幌国際大学を定年退職いたしました。札幌静修短期大学をスタートに30年を超える短大・大学勤務は、一言や二言でその全てを言い尽くすことはできません。

これまでを過ごしてこられた喜びは、歴代の理事長・学長・教職員の方々はもちろん、多くの学生諸君に出会えたことにあります。例えば一年間に100人の学生に出会えたとなれば、30年で3000人のキャラクターを知り得たことになるのです。それと同時に「教えることは学ぶこと」という言葉を噛みしめながら、財産とはこのようなものだと思改めて実感しています。今後も多くの同窓生諸君の活躍と健康を祈念しつつ、この欄の役割を終わらせていただきます。



## ゆく河の流れ

乳井克憲先生 札幌国際大学現代社会学部 教授

「ゆく河の流れは絶えずしてしかももとの水にあらず」の名言がある。

旧図書館裏の肩を寄せ合う研究室で、弾き語りをしてくれた彼女は英語が得意で、紫色のサンダルを上履きにしていた。むせ返るような玄関の靴箱をぬけて、開学10周年記念の中庭でゼミ写真。そうそう、入学時、学科の集合写真の撮影もあった。

円山動物園までの遠足、グラウンドから校舎近郊10kmのマラソン、36号線に一軒だけある喫茶店がゴールへの目処だった。

ゼミのフィールドワークでの方言調査、地元の人の力の入れように驚くばかり。発表にも力が入った。5年がかりで全道優勝した卓球部、教員と職員と学生と一緒に汗を流した成果だった。

手狭な図書館が総合情報館として生まれ変わった喜びの記念日。地域の人たちのみならず全国の人々の注目を浴びた。静修から札幌国際への劇的な変化、男女共学への奔流、いずれにも学友会の面々はしっかり舵取りをし、確かな伝統を築き上げた。その流れは卒業後も社会に浸透している。

ゆく河は、たしかに今もたゆまず流れている。



## 同窓生の皆さんへ

長崎潤一先生

札幌国際大学人文学部 教授

大学1期生が卒業してもう10年になります。バリバリ働いている人も、結婚して子育て中の人もいるでしょう。この10年で本学も大きく変わりました。学部学科の新設や学科名変更など、同窓生にとっては一抹の寂しさを感じることもあるでしょう。しかし急速に変貌する現代社会にあって、大学も変化を求められており自己変革の結果なのです。

トポフィリア(Topophilia)という地理学の用語があります。「場所への愛」といった意味で、空間に対する愛着・郷愁を指します。同窓生の皆さんにとって、学科や校舎が変わっても青年期に数年間を過ごしたキャンパスにはどこかに愛着があるものです。トポフィリアを感じに、どうぞキャンパスへお越しください。新しい発見もあると思います。お待ちしております。

## 堀内掬夫展が開催されました



堀内掬夫先生  
札幌国際大学  
札幌国際大学短期大学部  
副学長/道展事務局長

ギャラリー「どらーる」による企画展として「堀内掬夫展」は、平成18年7月1日より31日まで同ギャラリーで開かれました。

この企画は美術評論家と主催者側の選考により一年を12人の作家が個展をするもので、私は7年ぶりの参加となります。

今回は“graph”シリーズの新作を中心に21点展示。特別材質の厚さのある平面作品も飾りました。

選考の美術評論家の吉田豪介氏は私の案内状の中で「鮮烈な色彩と緊張する構成、グラフの表情から直接・心理や情緒や比喩を知覚させようとする意図があり、独自の造形想でテンションとコンストラクションを追及する知性派」と評していただきました。

オープニングパーティには神尾和正学長、加森公人理事等大勢の人達が集まって下さり楽しい一時でした。おかげさまで好評でした。改めてたくさんのご支援の皆様へ厚くお礼申し上げます。



## 同窓会活動報告

2005年6月～2006年5月

### 2005年

- 6月25・26日 大学祭
- 7月30日 代表幹事会(決算予算報告、役員改選承認)
- 8月21日 代表幹事会
- 9月10日 学科長会議
- 9月24日 同窓会会報発送
- 10月23日 役員会
- 11月26日 東京・大阪支部会議
- 12月3日 役員会

### 2006年

- 1月14日 役員会
- 2月12日 役員会
- 3月15日 卒業式
- 4月3日 入学式
- 4月8日 役員会
- 5月20日 役員会

## 平成17年度 会計収支明細表

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
繰越金	66,977,402	(1)事務費	3,527,202
入会金	1,035,000	報酬費	424,750
預金利息	43,267	事務用品費	746,677
合計	68,055,669	通信費	1,687,960

自：平成17年6月1日  
至：平成18年5月31日

### 貸借対照表

平成18年5月31日現在

資産の部		負債の部	
借方	貸方	借方	貸方
現金、預金	63,458,490	次年度繰越金	63,458,490
合計	63,458,490	合計	63,458,490

交通費	643,710
銀行手数料	24,105
(2)会議費	187,789
幹事会役員会費	187,789
(3)事業費	802,029
会報発行費	249,900
慶弔費	483,745
名簿管理費	68,384
(4)雑費	80,159
(5)次年度繰越金	63,458,490
合計	68,055,669



# 卒業生インタビュー ～大学院で学ぶ学生～



札幌国際大学大学院 心理学研究科進学

木村 彰子さん

静修短期大学児童教育学科卒業

## 乳幼児教育に関わる心理学の研究へ

25年の幼稚園教諭のキャリアを持つ木村さん。1年前に仕事を退職したのを機会に、以前、幼稚園1種免許取得の講習でなじみのあった本大学院への入学を決意します。現在は、幼児教育での心理学やカウンセリングを通して、子どもの生きる力をサポートするための研究を進めています。「毎月曜から金曜日まで、昼間の学部の講義も受講したり、ピッタリと勉強しています(笑)。レポートの作成とか大変ですが、いまは、学ぶことの幸せを実感しています」。一見、おっとりとした木村さんですが、大学に併設される附属幼稚園に2カ月間、臨時に勤めさせてもらうなどの行動派でもあります。その幼稚園での観察から得られたデータを蓄積し研究に反映させていきます。将来的には臨床心理士の資格取得を視野に入れ、乳幼児教育にかかわれたらと考えています。「自分の子どもと同じ年代の学生たちに囲まれて、まるで女子学生になったよう(笑)」と、若々しく語ってくれました。



札幌国際大学大学院 観光学研究科進学

和田 早代さん

静修短期大学秘書学科卒業

## 仕事と勉学で充実する日々

本学園の総務課に在籍し、理事長秘書の仕事に就きながら、現在、大学院の観光学研究科で学習を続ける和田早代さん。「私の上司が観光の先駆者で原稿の清書などを通して北海道の観光に興味を持ったことと、秘書の仕事である接遇などが、観光業でのモチベーション等との共通点があると思います、本格的に勉強して仕事に役立てたいと考えて・・・32歳の決断でした。」しかし、何年も学ぶことから離れていたし、仕事を続けながら夜間に学習ができるか不安になったと言います。「職場(大学)の上司の理解があり環境に恵まれたのと、教員の熱心な指導で乗り切ることができました。」と1年目を振り返る和田さん。いま2年生として修士論文に取り組んでいます。テーマは「北海道の温泉宿泊施設におけるサービス」。フィールドワークとして、ニセコや洞爺などに出かけて調査を行ない、たくさんの方と出会い、教員や研究室の仲間と語り合ったりと楽しい思い出となっています。



札幌国際大学大学院 地域社会研究科進学

十川 大輝さん

札幌国際大学人文・社会学部社会学科卒業

## 自分の目標へ向かって邁進

十川さんが大学院進学を決意したのは、学部3年の時に専攻したマーケティングの面白さに目覚め、さらに突き詰めて研究したいと思ったからでした。「1年のいまは理論中心の研究をしていますが、自分でテーマを見つけ研究を進めるなどすべて自分で決めます。やり甲斐がある反面プレッシャーも大きい」と、十川さんは語ります。2年生になると論文作成のためのアンケートやインタビューによる調査を行うことになっています。研究テーマは「人間の気質の違いで異なるニーズ」ということで方向性も見えてきました。例えば北海道人の気質を研究し、独自の嗜好性やニーズを見出しそれをマーケティングに生かそうというものです。「いまは自分のやりたいことが見付き、それに向かって迷いはありません。将来は、マーケティングの研究が活かせる分野に進みたいです」と十川さん。講義は札幌中心街のサテライトキャンパスで行われることもあり、学部と違って社会人が多いのでよい刺激となっているそうです。

## 2007年度 大学院入試 ～学びたい時が学び時～

### ◇地域社会研究科 (地域社会専攻/修士課程)・観光学研究科 (観光学専攻/修士課程)

これまでの大学院は“研究者養成”の色彩が強く、高度な専門教育が受けられる反面、その間口は限られたイメージがありました。しかし、生涯学習が注目を集める今、札幌国際大学大学院は社会人の方の「もう少し学びたい」というニーズに応えるため、積極的に学びの場を提供いたします。

本学大学院では、実践的なカリキュラムと充実したサポート体制で“地域創造”と“観光産業”という二つの分野から地域の発展に貢献できるスペシャリストを養成していきます。

選抜方法—面接のみ (審査書類、面接試験の結果を総合的に審査する)

### ◇心理学研究科 (臨床心理実務専攻/修士課程)

今日、日本の社会は国際化、情報化の中で急激に変化しつつあります。複雑化する社会の様々な場で、多くの人が悩み、傷ついています。

心の問題へ対応できる専門家を養成することは、重要な社会的課題といえるでしょう。

本研究科では、こうした時代と地域のニーズに応じて、広く教育や地域生活の分野で活躍できる実務能力をもった人材育成を目指しています。また社会人をふくむ多くの方により高度な専門研究の機会を提供するために、実務カリキュラムを充実させるとともに、効率的に学べるサポート体制を整備しました。

選抜方法—○試験入学—英語、論文、面接 (審査書類、試験の結果を総合的に審査する)

○社会人特別選抜入学—論文、面接 (審査書類、試験の結果を総合的に審査する)

## 2007年度 同窓会子女入学

調査書、作文・面接の結果を総合的に審査して行います (学力検査は課しません)。

	札幌国際大学 札幌国際大学短期大学部
出願期間	2006年11月1日(水) ～11月8日(水) 消印有効
試験日	11月11日(土)
試験場	本学
合格発表	11月16日(木)
入学手続締切日	12月5日(火)



# 同窓生のみなさま、ぜひお越しく下さい

## オペレッタ

今年の演目は『ドリーアンドモリー』に決定しました。この演目は絵本などの原作がなく、ストーリーなど全て一から創り上げる創作オペレッタのため、各部門が試行錯誤をしながら作業を進めてきました。

200名が一丸となり、「私たちが伝えたいもの」を観客の皆様にお伝えする事ができる様、頑張りたいと思います。同窓生の皆様、お時間のある方は是非ご覧ください。

### ●総合表現演習Ⅱ「オペレッタ公演」

日時：2006年10月28日(土) 開場15:30 開演16:30  
10月29日(日) 開場13:30 開演14:00

会場：札幌国際大学総合情報館  
地下1階シアター

入場料：無料 全席自由

お問い合わせ：札幌国際大学  
河本研究室 (011-881-6549)

## 吹奏楽部

私たち吹奏楽部は、各種式典演奏や行事の依頼演奏、また吹奏楽コンクール出場など、多くの演奏機会の恵まれ、充実した活動を行っています。今年度、9月2日に行われました全日本吹奏楽コンクール全道大会では、初の金賞をいただくことができました。

今回の定期演奏会では、クラシックをはじめアンサンブルやポップスなどを演奏する予定です。部員一同、皆様を楽しめる演奏会を目指して、一生懸命演奏いたしますので、ぜひご来場ください。

### ●第12回定期演奏会のご案内

日時：2007年1月11日(木) 開場17:30  
開演18:00

場所：札幌コンサートホールKitara小ホール

入場料：500円

お問い合わせ：札幌国際大学 河本研究室  
(011-881-6549)



## ハンドベルクワイア

ハンドベルは温かい心の交流を大切にする楽器です。一人ひとりが奏でる数個のベルが調べを紡ぎ、ひとつの曲として織り出されます。個の輝きが互いを照らし合い輝きを増すハンドベルの音色は、『天使の音色』として、耳を傾けてくださる人々のメッセージを届けます。

### ●第15回定期演奏会のご案内

日時：2007年2月11日(日・祝)  
開場17:30 開演18:00

場所：札幌コンサートホールKitara  
小ホール

入場料：当日 1,200円 前売 1,000円

お問い合わせ：札幌国際大学 林研究室  
(011-881-6545)

## エレクトーンサークル

私たちエレクトーンサークルは、顧問の蔵満先生のご指導のもと、総合情報館地下シアターにて、エレクトーンとピアノによるアンサンブルを行っております。

今年度はエレクトーン部が創設されて5年目となります。演奏会の完成度は年々向上し、先日の大学祭での演奏会では多数のご来場をいただきました。

次回開催の定期演奏会に向け、部員一同練習に励んでおります。

### ●第3回定期演奏会のご案内

日時：2007年2月24日(土) 開場13:30 開演14:00

場所：ヤマハアパニユーホール 札幌市中央区南10条西1丁目1-56

入場料：500円

お問い合わせ：札幌国際大学 蔵満研究室 (011-881-8844)

## 合唱団

今年の定期演奏会は「旅立ち」がテーマです。部員の半数が今年度、卒業をひかえ新しい社会に旅立ちとうとしています。入学を果たし、自分の夢を叶えるため旅立ったばかりの部員もいます。私たちが「旅立ち」に込めた想いが皆さんの心に届くような定期演奏会にしたいと、日々練習にはげんでいます。たくさんのご来場をお待ちしております。

### ●第32回定期演奏会のご案内

開催日時：2007年2月17日(土)  
開場13:30 開演14:00

会場：札幌国際大学  
総合情報館1階プラザ

入場料：無料

お問い合わせ：札幌国際大学  
河本研究室  
(011-881-6549)

## 大学図書館へ行こう

校門をくぐり坂道を登りながら、左手に出迎えていたレンガの建物、総合情報館(図書館)。現在の蔵書冊数は約19万冊(うち洋書は2万5千冊)、和雑誌は128タイトル、洋雑誌は49タイトルあります。本館3階には黎明(れいめい)と呼ばれる掘りごたつ風になった閲覧場所もあり、和の雰囲気味わえます。

第二閲覧室には、新聞や雑誌、DVD・ビデオ・CDといった視聴覚資料や、インターネット・新聞記事検索、また、幼児教育保育学科の学生たちがデザインした絵本コーナーもあります。お子様と一緒にご利用ください。この窓からは、総合生活学科の学生達が育てた美しいガーデンを眺めることもできます。

卒業生のみなさま、ぜひ総合情報館へお越しく下さい。館員一同、お待ちしております。



本館2階



絵本コーナー



洋雑誌



インターネット・新聞記事検索コーナー

## 札幌国際大学ホームページ

<http://www.siu.ac.jp/>

現在の大学の様子を見ることができます。



本館3階 黎明(れいめい)



### ○ 利用手続き

1. 卒業年度と学部・学科名を確認しておきましょう。
2. 身分証明書である「運転免許証」や「保険証」等、現住所を確認できるものを持参してください。

### ○ 貸出

資料種別	貸出数と貸出期間
図書	3冊 2週間
雑誌・紀要	3冊 2週間
DVD・ビデオ・CD	1回につき1本(館内閲覧のみ)

### ○ 利用時間

平日(本館) 9:10~17:50 (第二閲覧室) 9:10~17:50

土曜日(本館) 9:10~14:50 (第二閲覧室) 9:10~12:00

春・夏・冬休み中等、開館時間が変更になります。詳しくは下記へおたずねください。

札幌国際大学図書館 011-881-6722

図書館ホームページ <http://www.ed.siu.ac.jp/lim/index.html>



①住所の変更 ②電話番号の変更 ③姓名の改姓  
上記の場合、同窓会事務局までご連絡をお願いします。  
〒004-8602 札幌市清田区清田4条1丁目4-1 札幌国際大学内静華会行  
◎個人情報保護のため、必ず「静華会行」と明記してください。

静華会では、同窓生の個人情報を厳重に取扱い、適正な管理を行います。ご提供いただいた情報は、同窓会会員の管理および同窓会の運営、同窓会組織の交流活性化に役立てる目的で使用します。